

平家物語 忠度の都落ち

一、レポートの空欄を埋めることだけに集中するのではなく、空欄を埋めるために大切な語句が周囲にたくさんあることに注意しよう。

※琵琶法師 平曲 諸行無常・盛者必衰の仏教的無常観 ↑ これら三点は「国語総合」の復習になる語句です。

誤字に注意！ ×無情感

二、※藤原俊成（しゅんぜいとも言う）…第七勅撰和歌集『千載和歌集』を、後白河上皇の命令により撰んだ。

「親子」です。

※藤原定家（ていいかとも言う）…第八勅撰和歌集『新古今和歌集』を後鳥羽上皇の命令により撰んだ。

第一から第六までの勅撰和歌集

- ①古今（こきん）、②後撰（ごせん）、③拾遺（しゅうい）
④後拾遺（ごしゅうい）、⑤金葉（きんよう）、⑥詞花（しか）

五、「さりぬべきもの」の「べし」という助動詞には多くの意味があり、文意に即した現代語訳をする必要があります。

※「べし」…推量（〜だろう）、意志（〜しよう）、可能（〜できる）、当然（〜べきだ）、命令（〜せよ）、
適当（〜するのがよい）

助動詞の意味の頭文字をとって「ス・イ・カ・ト・メ・テ」と覚える。

ここでは「勅撰集に*いれてもよい歌*」の意味なので「**適当**」が**適当**と言えます。

六、「ゆめゆめ疎略を存ずまじう候ふ」…「ゆめゆめ」は、文末に一定の語句をともなって「禁止」を表す陳述の副詞です。

ここでは「まじう」という「打消推量」をともなって「決して〜思いません」となります。

主な陳述の副詞

あへて+打消…まったくくはない、たへて+打消…まったくくはない、さらに+打消…まったくくはない、
つゆ+打消…まったくくはない、をさをさ+打消…少しもくはない、いたく+打消…あまりくはない、え+打消…くできない
よも+じ（打消推量）…まさか、くはないだろう、な+動詞+そ…くするな

九、「勅勘」…勅（天皇）から「勘当」（縁切りされること）⇨敵対すること。朝敵。

※軍記物語は、戦の臨場感を出すため「音便」が多用される。発音をなめらかにして、素早く言える工夫です。

P 78 L 2 取つて返し ↑ 取りて返し「促音便」 L 5 申すべきことあつて ↑ ありて「促音便」
L 6 参つて候ふ ↑ 参りて「促音便」
P 79 L 2 何となう ↑ 何となく「ウ音便」 L 3 申し承つて ↑ 申し承りて「促音便」
L 8 かうぶらうど ↑ かうぶらんと「ウ音便」 L 11 かうぶつて ↑ かうぶりて「促音便」
L 14 これを取つて ↑ これを取りて「促音便」
P 80 L 3 存ずまじう ↑ 存ずまじく「ウ音便」 L 6 深う ↑ 深く「ウ音便」
L 7 おさへがたう ↑ おさへがたく「ウ音便」 L 8 喜んで ↑ 喜びて「撥音便」
L 13 西をさいてぞ ↑ 西をさしてぞ「イ音便」 L 14 見送つて ↑ 見送りて「促音便」
P 81 L 1 名残惜しう ↑ 名残惜しく「ウ音便」 L 2 静まつて ↑ 静まりて「促音便」

※よみ・書き※に注意する語

P 78 L 2 三位（さんみ） L 3 落人（おちうと） L 5 別（べち）
P 79 L 3 承つて（うけたまわつて） L 5 疎略（そらく） L 7 撰集（せんじゅう） L 9 沙汰（さた）
L 15 奉る（たてまつる）
P 81 L 8 子細（しさい）

能登殿の最後

・「忠度の都落ち」同様、音便形が多く使われていますが、みなさんの自学自習に期待し、省略します。

この单元では、当時の合戦時に使われた道具、衣装などについて難しい漢字とその読みを取りあげておくので、読み書きできるようにしましょう。

P 82 L 5 直垂（ひたたれ） L 5 唐綾緞（からあやおどし）の鎧（よろい） L 6 大太刀（おおだち）
L 7 白柄（しらえ）の大長刀（おおなぎなた）の鞘（さや） L 8 左右（さう） L 9 面（おもて）
L 13 敵（かたき）

P 83 L 2 茎短（くきみじか） L 3 判官（ほうがん） L 10 草摺（くさずり） L 11 大童（おおわらわ）
 L 12 大音声（だいおんじょう）
 P 84 L 1 知行（ちぎょう） L 3 郎等（ろうどう） L 3 弟（おとと） L 9 鍛（しろろ）
 L 13 裾（すそ） L 15 弓手（ゆんで）
 P 85 L 1 馬手（めて） L 2 死途（しで）

二、「能登殿、いたう罪な作り給ひそ。さりとて、よき敵か。」：表面の「陳述の副詞」にも書いてありますが、「な十動詞+そ」は禁止です。ここでは「能登殿」に対する尊敬語の「給ひ」が補助動詞としてついているので、現代語訳は「罪をお作りになつてはいけない」となります。

四、「などか從へざるべき」は「か」が係助詞（反語）で、助動詞「べし」（可能）の連体形（結び）です。レポートにも「注意」にあるように、反語表現で現代語訳できるようにしましょう。

平家物語 冒頭

P 78 この文章のどこを空欄にされても、どの漢字の読み書きを問われても書けるようになっておきましょう。

平家物語の成立について

P 85

作品説明から毎度のことですが①作品名『平家物語』、②作者名・不明、③ジャンル・軍記物語、④成立年代・十三世紀前半（鎌倉時代）はセットで覚えておくこと。

また、文体の特徴は和漢混交文、琵琶法師が平曲として広めたことも大切です。

義経伝説の誕生

難読漢字を挙げておくので、読めるようにしておきましょう。

壇の浦の合戦

鞍馬寺

元服

奥州

平泉

庇護

かばう、まもる

挙兵

兵を挙げて戦う準備をする

機知：その場でとつさに働く機転

武功

戦争の手柄

判官（はんがん）びいき：薄幸な英雄（義経）への同情。後には弱者へのひいきに転じた。